

# LRT視察既に100件超

【宇都宮】次世代型路面電車（LRT）の宇都宮芳賀ライトレール線の開業から2カ月、全国から視察が相次いでいる。本年度は26日までに既に105件を受け入れており、今後の予定も含めると計193件に上る。現在も申し込みが舞い込んでおり、昨年度の100件を大幅に超える見通しだ。市は「LRT施策を知ってもらっただけでなく、市の観光などをアピールする絶好の機会」と歓迎している。

（菊地政勝、瀬戸覚旨）

## 宇都宮 昨年度実績の倍にも

19日午後のJR宇都宮駅 長野県松本市内で不動産東口の宇都宮駅東口停留 会社を営む花岡清江さん場。ライトキューブ宇都宮（70）は沿線で進むマンシから出てきたスーツ姿の人 ヨン建設を挙げ、「車窓がたちでホームがいつほいに ら街が活気づいている様子になった。が見えた」と話した。

一行は同所で開かれた全国不動産会議栃木県大会に R T協働広報室によると、出席した不動産関係者約1 市担当者がLRT事業について説明した後、実際に乗 LRTに分乗し、沿線の街 車し、車両基地やトランジットセンターを見学する機会を視察した。

## 開業後急増、海外勢も関心



訪れるのは全国の自治体 や鉄道運行会社、業界団体、大学の研究室などさまざま

ま。韓国メディアやアフリカのウガンダなど海外勢も含まれる。規模も数人から千人単位まで幅広い。

特に開業翌日の8月27日から今月26日までは58件を受け入れ、「ほぼ毎日視察対応がある状態」（同室）。新型コロナウイルス感染拡大前の2019年度は20件だったことから、本年度の急増ぶりが分かる。

同室の安保雅仁室長は「国の支援を得て実現したLRT。第二の宇都宮が誕生してほしいと願って案内している」と述べ、「観光情報も併せて提供している。視察後の市内周遊など地域経済の活性化につながる。と期待を寄せた。

全国不動産会議の視察研修で、宇都宮駅東口停留場からLRTに試乗する人たち